

町民ニーズに応え、多くの方に喜ばれる「交通システムの構築」を求める決議

本町を取り巻く交通の課題は、路線バスの減便や、高齢化に伴う免許証の返納者の増加、保護者の児童生徒の送迎負担など、様々な課題を抱えている。

それらの課題を補完するため、オンデマンドバスの需要が増加している。

また、オンデマンドバスの実証運行を開始してから本年度で10年が経過することからも、多様化する町民ニーズに応え、多くの方に喜ばれる交通システムを構築する必要から下記の点について改善されるよう求めます。

記

1. 自宅前降車方式の実証運行を継続する。
帰宅時のみ希望降車ポイントで降りられる方式を引き続き継続するとともに、対象者をデマンドに実績のある65歳以上の利用者と妊産婦に限定せず、すべての人を対象とする。
2. バス更新時に小回りの利く小型のバスに更新する。
3. 路線バスのフィーダーバスとして位置付ける。
風雨をしのぎ、トイレを完備した休憩所を原のバス停留所に設置する。
4. 循環型への一部導入の検討をする。
定時路線型運行（曜日、地区、時間を決め、予約なしでオンデマンドバスを巡回する。）
5. 乗り合いデマンドタクシーへの転換の検討をする。
ドアツードアの実現。
6. 自家用有償運送の検討をする。
NPO や地元協議会等が行う自家用有償旅客運送の規制緩和に伴い、新たな公共交通としての検討。

以上、決議する。

令和5年3月10日

中井町長 戸村 裕司 殿

中井町議会